

知って備える 防災メモ

第46回



暴風雪に備えましょう

●『暴風雪』について

気象台では、『暴風雪』によって重大な災害が発生する恐れがあると予想したとき、『暴風雪警報』を発表します。

さらに、数年に一度の非常に激しい『暴風雪』が予想される場合には、「数年に一度の猛吹雪」や「外出は控えてください」などの言葉を使って気象情報を発表し、嚴重な警戒を呼び掛けます。

●暴風雪警報が発表されたら

猛吹雪では前が見えなくなり、車の運転や歩行が困難となります。

また、『暴風雪警報』の発表中は、晴れていても一瞬で猛吹雪になるなど、天気が急変する場合があります。屋外での行動は危険を伴います。

もし、吹雪や吹きだまりなどで車が動けなくなった場合、ほかの車との衝突を防ぐため、ハザードランプ

を点灯するほか、一酸化炭素中毒を防ぐためエンジンを切るか、車のマフラード付の除雪が必要で、風雪が強くなってきたら無理をせず、道の駅やコンビニエンスストアなどで

天気の良い回復を待つことも身を守る手段です。

また、家では停電に備え、事前にラジオ・懐中電灯・乾電池などの準備をしており、暴風雪警報が発表されたら、テレビなどで最新の情報を確認し、外出を控えるなどの確かな行動をとることが重要です。



▲平成24年11月、暴風雪により市内で停電が発生し、信号機が停止した

▼問い合わせ
室蘭地方気象台

(☎²²4249)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

登別かっぱれ道場

『登別かっぱれ道場』は、古くから伝わる日本の伝統芸能の『かっぱれ』を普及・発展させることを目的に、平成17年に発足しました。

現在のメンバーは、60代から70代までの男性3人、女性5人の計8人。毎週木曜日の18時30分から21時まで登別公民館で稽古に励んでいます。

同道場は、町内会や施設のイベントなどへ積極的に参加し、かっぱれを大勢の人に広めるため活動を行っています。

同道場の発足以前から、長くかっぱれに取り組んでいる櫻川さくらがわ 徳有とくゆさんは、「かっぱれは、豆絞りをさりと結び、浴衣をはきよって、威勢のいい男踊りを



粋な踊りで見た人を引き付ける日本の伝統芸能を一緒に楽しみませんか



▲衣装を身にまとい、全身を使って陽気に踊る『かっぱれ』

する日本の伝統芸能です。かっぱれの粋な踊りや掛け声は、見て美しく、どこでもどなたでも楽しむことができます」と話します。

同道場の代表の熊野正宏くまの まさひろさんは、「周りも優しく教えてくれるので、新人も積極的に舞台上に立ち、一緒に楽しんでもらいたいです」と新たなメンバーの募集を呼び掛けます。

「かっぱれは、和製エアロビクスとも呼ばれ、全身を使って楽しく踊るため、良い運動になります。偶数月に市民活動センターで体験講座を行っているので、ぜひ一度、体験してみてください」と櫻川さんは、話してくれました。

体験や見学を希望する方は、櫻川さん (☎⁸⁶2210) まで。